



広島市医師会執行部ニュース VOL.1

今年も残すところあとひと月になりました。

会員の皆様におかれましてはご多忙の日々をお過ごしのことと拝察いたします。

さて、執行部が令和2年6月に発足しての1年半はまさにCOVID-19との闘いでした。

現在、第6波と3回目のワクチン接種に向けて万全の体制を整えているところです。

一般社団法人 広島市医師会会長 佐々木 博

COVID-19 との闘い

1. 令和2年7月～ 年末年始の第3波に向けて、舟入市民病院での一般救急患者の診察が困難になることが予想されたため、広島市民病院および市内基幹病院を中心に、救急患者の診療体制を構築しました。
2. 令和2年5月～臨床検査センターが中心になり医師会 PCR 検体採取センターを運営開始しました。検体採取には当会役員が出務しました。
3. 第3波が押し寄せる中患者のトリアージ機能が麻痺したため、急遽夜間急病センターを休診とし、広島市民病院医師、X線検査技師および急病センター看護師が協力しトリアージセンターとして利用しました。
4. 年末休み直前、県からホテル療養患者の健康観察につき緊急の依頼があり、役員が出務しつつ、会員に向けて臨時的な協力依頼を始めました。
5. 次々に押し寄せる難問に加え、令和3年2月からワクチン接種準備に追われることになり、担当部署での対応が限界を超えたため、全役職員による組織横断的なチーム編成”2021 コロナプロジェクト”が始動しました。6つのチーム（ワクチン接種、ホテル・在宅療養者対応、アフターコロナ（後遺症・合併症）、休日・災害時診療体制の構築、会員支援、PCR 検査体制）はそれぞれ現在も機動的に活動を継続しています。
6. 一方臨床検査センターでは令和2年度に続き、令和3年度も医療機関および広島県事業からのPCR検査の受託により、7月時点で当初計画を大幅に上回る収益が見込まれることとなりました。そこで、事業継続のための費用を確保した上で、ご利用医療機関への利益還元として、検査料金の15%値引きを7月から、ご利用医療機関の90%から申し込みいただいた医療従事者の抗体検査を11月から実施しております。

老朽化した観音医師会館問題について

未だ放影研の移転先が決まらない中、広島市および広島市長は千田町健康の杜構想への全面的協力を明言されました。新築移転については、新会館のコンセプトと目指す機能、建設費用など、不確定要素が多く、あらゆるパターンを想定してシミュレーションを行っているところです。また、新築移転そのものの必要性に疑問を抱いている会員がいらっしゃることも事実です。

このため、新会館については広く会員の声を拝聴し、待ったなしの会館問題についてベストな方向性を選択したいと考えています。今後も新たな動きがありましたら、この執行部ニュースにて迅速に情報発信してまいります。

この1年半、COVID-19 最前線で診療にあたられた会員の先生方に対し、最大限の敬意を表します。

また年末年始の医療体制へのご協力に始まり、ホテル療養者・在宅療養者の健康管理・ワクチン接種等、様々な医師会事業へ積極的支援をいただきました全会員の皆様に深く感謝申し上げます。

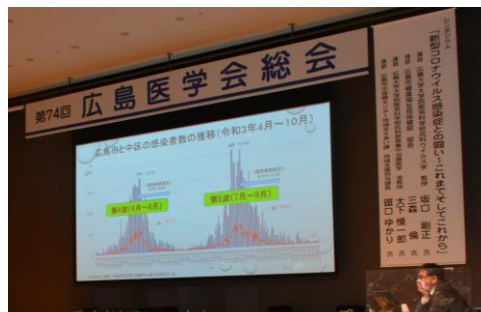
広島市医師会は、市民の健康、会員支援を第一に、役職員一丸となって難問に立ち向かっていきます。引き続きご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



広島市医師会緊急記者会見（令和 3. 5. 15 於 広島医師会館）
—感染者急増に伴う医療危機を市民に訴える—



**広島医師会館で新型コロナワクチン
集団接種を実施**
（令和 3.9.21～令和 3.11.13）



**第74回広島医学会総会においてシンポジウムの
企画・開催「新型コロナウイルス感染症との闘い
～これまでそしてこれから」**（令和 3.11.14）

一般社団法人広島市医師会 総務広報課
広島市西区観音本町1-1-1
電話:082-232-7321 FAX:082-292-5233